



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 さくらインターネット株式会社

上場取引所 東

コード番号 3778 URL <https://www.sakura.ad.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (氏名) 田中 邦裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 川田 正貴

TEL 06-6476-8790

四半期報告書提出予定日 2022年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,622	8.6	438	51.5	352	54.1	77	85.1
2021年3月期第3四半期	16,003	0.8	905	46.1	769	50.3	519	306.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 80百万円 (84.7%) 2021年3月期第3四半期 527百万円 (250.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	2.13	
2021年3月期第3四半期	14.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	26,077	8,227	31.1
2021年3月期	27,975	8,113	28.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 8,118百万円 2021年3月期 8,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		3.00	3.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,700	11.1	640	53.4	530	51.8	190	74.9	5.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	37,620,700 株	2021年3月期	37,620,700 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,140,644 株	2021年3月期	1,140,644 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	36,480,056 株	2021年3月期3Q	36,480,056 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.決算補足説明資料は2022年1月31日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和されつつありますが、引き続き供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスク、変異株をはじめ感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

当社グループの属するクラウド・インターネットインフラ市場は、デジタルトランスフォーメーションが進むなか、すべての企業で第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術）の利用が加速し、企業ITインフラのクラウドへの急速な移行やデータ量の爆発的な増加が予想されており、当社グループの属する市場は今後も拡大が継続すると見込んでおります。

こうした状況のもと、当社グループはシステムインテグレーションから開発、インターネットインフラサービスの提供、保守、運用、お客様サポート等をグループ内においてワンストップで提供することで、お客様の「やりたいこと」の実現を支援することを目指しております。現在の45万件を超える顧客基盤と新たな顧客にとってのカスタマーサクセスの実現に注力することで、今後も高い市場成長が見込まれるクラウドサービスの拡大に注力しております。

売上高につきましては、クラウドサービス売上は引き続き好調に推移いたしました。政府系大口案件の契約期間満了や物理基盤サービスの一定規模のサービス移行による影響等により14,622,455千円(前年同期比8.6%減)となりました。

営業利益につきましては、前期よりクラウドサービスへのリソース集中・最適化を行ってまいりましたが、売上高の減少等により、438,946千円(前年同期比51.5%減)となりました。

経常利益につきましては、営業利益の減少などにより、352,891千円(前年同期比54.1%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、大阪本社移転に伴う減損損失等の計上などにより、77,563千円(前年同期比85.1%減)となりました。

サービスカテゴリー別の売上状況は以下のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より、注力領域の変更に伴い、サービスカテゴリーの見直しを行っております。

① クラウドサービス

さくらのクラウド、さくらのVPS、さくらのレンタルサーバが好調に推移したこと等から、クラウドサービスの売上高は8,132,824千円(前年同期は7,395,690千円、10.0%増)となりました。

② 物理基盤サービス

高火力コンピューティングサービス大口案件の契約期間満了や前期からの一定規模のサービス移行による影響等により、物理基盤サービスの売上高は3,407,562千円(前年同期は4,803,902千円、29.1%減)となりました。

③ その他サービス

政府衛星データ案件の満了や前年同期におけるグループ会社での大口機器販売、収益認識基準適用に伴い代理人取引と判定される商品売上の収益認識を総額から純額に変更した影響等により、その他サービスの売上高は3,082,068千円(前年同期は3,804,220千円、19.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,897,540千円減少し、26,077,866千円(前連結会計年度末比6.8%減)となりました。主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少等によるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ2,010,905千円減少し、17,850,806千円(前連結会計年度末比10.1%減)となりました。主な要因は、返済によるリース債務、借入金の減少等によるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ113,365千円増加し、8,227,060千円(前連結会計年度末比1.4%増)となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、注力するクラウドサービス売上の順調な推移やグループ会社業績が好調なことに加え、コスト最適化を更に進めたことで順調に推移しており、2021年10月27日付「第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正(上方修正)及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表した通期業績予想を据え置くことにいたしました。

なお、第4四半期には、年度末に向けて官公庁案件やグループ会社各社の案件獲得等を見込んでおり、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,174,765	3,462,502
売掛金	2,167,241	2,009,098
商品及び製品	21,002	44,550
貯蔵品	575,462	692,115
その他	831,430	1,127,548
貸倒引当金	△14,621	△13,356
流動資産合計	7,755,281	7,322,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,914,504	7,686,925
工具、器具及び備品（純額）	2,638,475	2,423,982
リース資産（純額）	6,224,957	5,306,113
その他（純額）	650,839	672,199
有形固定資産合計	17,428,778	16,089,221
無形固定資産		
その他	468,090	429,210
無形固定資産合計	468,090	429,210
投資その他の資産		
その他	2,329,460	2,243,000
貸倒引当金	△6,204	△6,024
投資その他の資産合計	2,323,256	2,236,975
固定資産合計	20,220,125	18,755,408
資産合計	27,975,406	26,077,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	557,510	564,985
短期借入金	1,035,000	1,296,000
1年内返済予定の長期借入金	933,568	814,482
未払法人税等	114,992	15,040
前受金	4,552,858	4,271,089
賞与引当金	327,519	186,026
本社移転損失引当金	—	34,007
その他	2,517,216	2,228,689
流動負債合計	10,038,666	9,410,319
固定負債		
長期借入金	3,383,518	2,817,604
リース債務	5,522,672	4,724,810
資産除去債務	865,224	868,301
その他	51,630	29,771
固定負債合計	9,823,045	8,440,487
負債合計	19,861,711	17,850,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,256,921	2,256,921
資本剰余金	1,366,388	1,366,388
利益剰余金	4,979,727	5,092,035
自己株式	△600,029	△600,029
株主資本合計	8,003,006	8,115,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	13
繰延ヘッジ損益	—	638
為替換算調整勘定	1,035	2,239
その他の包括利益累計額合計	1,035	2,890
非支配株主持分	109,653	108,854
純資産合計	8,113,694	8,227,060
負債純資産合計	27,975,406	26,077,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	16,003,813	14,622,455
売上原価	11,812,648	11,278,473
売上総利益	4,191,165	3,343,981
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,719	—
給料及び手当	1,061,312	965,609
賞与引当金繰入額	68,122	75,296
その他	2,154,401	1,864,129
販売費及び一般管理費合計	3,285,556	2,905,035
営業利益	905,608	438,946
営業外収益		
受取利息	24	492
持分法による投資利益	8,782	18,618
貸倒引当金戻入額	6,666	1,444
暗号資産売却益	—	31,041
その他	23,608	33,625
営業外収益合計	39,080	85,223
営業外費用		
支払利息	151,792	131,237
その他	23,402	40,041
営業外費用合計	175,194	171,278
経常利益	769,494	352,891
特別利益		
固定資産売却益	9	12,808
違約金収入	38,600	—
受取和解金	54,513	—
特別利益合計	93,123	12,808
特別損失		
固定資産売却損	6,325	3,120
固定資産除却損	15,433	41,311
減損損失	91,685	142,730
本社移転損失	—	51,010
本社移転損失引当金繰入額	—	34,007
その他	15,829	1,031
特別損失合計	129,274	273,212
税金等調整前四半期純利益	733,343	92,487
法人税、住民税及び事業税	132,274	15,904
法人税等調整額	74,280	△2,364
法人税等合計	206,554	13,540
四半期純利益	526,788	78,946
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,541	1,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	519,246	77,563

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	526,788	78,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	13
繰延ヘッジ損益	—	638
為替換算調整勘定	820	1,203
その他の包括利益合計	811	1,855
四半期包括利益	527,599	80,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	520,058	79,418
非支配株主に係る四半期包括利益	7,541	1,383

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客との契約における履行義務の識別を行った結果、インターネットインフラサービスに係る初期費用売上の一部について、サービス提供開始時に収益認識する方法によっておりましたが、サービス契約期間にわたり収益認識する方法に変更しております。また、ドメイン取得サービス売上の一部について、一定の期間にわたり収益認識する方法によっておりましたが、取得完了時に収益認識する方法に変更しております。加えて、当社グループが代理人として関与したと判定される商品売上について、総額で収益認識する方法によっておりましたが、純額で収益認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は291,363千円減少し、売上原価は309,073千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,710千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は144,184千円増加しております。